

感染症対策の徹底について

2021年9月 保健室

◎現在、変異株の影響により、今までになく新型コロナウイルス感染症がまん延しています。変異株であっても、個人の基本的な感染予防対策は変わりません。今一度、感染症対策の確認と徹底をお願いします。

① 毎朝の検温と記録

既に習慣になっていると思いますが、毎朝必ず検温し、健康観察記録表に記入してください。



② 体調不良の場合は登校を控えること

発熱や倦怠感、喉の違和感などの風邪症状がある場合は、自宅で療養してください。また、症状がすぐに治まった場合でも、念のため1日程度登校を控え、受診することを検討してください。

なお、新型コロナウイルス感染症に関し、出席停止の措置をとる場合は、以下の通りです。

- 1 感染が判明した場合
- 2 濃厚接触者に特定されるなど自宅待機を指示された場合
- 3 発熱等の風邪症状がみられる場合（症状が治まった後1日程度登校を控えた場合も含む）
- 4 同居家族に発熱等の風邪症状がみられる場合、または同居家族が濃厚接触者に特定された場合は、PCR検査でその家族の陰性が判明するまで
- 5 新型コロナウイルスワクチン接種を受ける場合または副反応による体調不良の場合
- 6 その他、校長が必要と認める場合

※上記に該当する場合でも、出席停止届の提出がなければ「出席停止扱い」にはなりません。必要な場合は必ず提出してください。新様式の出席停止届は、学校のHPからダウンロードできます。健康観察記録表（体温等）の記入も忘れずに。

～～ 濃厚接触者について ～～

濃厚接触者の特定基準が以前に比べ厳しくなり、以下のようなものが濃厚接触者に特定される可能性がありますので、各自気を付けてください。



濃厚接触者の候補

- ・感染者と長時間の接触があった者
- ・1m以内の距離で必要な感染予防策なしで感染者と15分以上の接触（会話など）があった者（ただし1m以内で互いにマスクなしで会話した場合は、時間の長さを問わずに濃厚接触者に該当する場合がある）
- ・感染者の感染可能期間（発症2日前から療養を解除されるまで）に接触した場合
- ・感染者からの物理的な距離が近い、又は接触頻度が高い者等（感染者と同一の学級の生徒等）
- ・大声を出す活動、呼気が激しくなるような運動を共にした者等（感染者と同一の部活動に所属する生徒等）

③ マスクの適切な着用・三密の回避など

- ・登下校中を含め、校内では原則マスクを着用してください。いわゆる鼻出しマスクや顎マスクは、マスクの着用が不適切とみなされます。
- ・感染力の強い変異株に対応するため、布マスクやウレタンマスクより、できる限り不織布マスクの使用をお勧めします。
- ・昼食は、自分の席で前を向いて食べ、黙食に徹すること。食事後は速やかにマスクを着用すること。
- ・体育や部活動などで呼気が激しくなる運動時にはマスクを外しても構いませんが、その場合は必ず人と距離を取り、会話を控える等、十分な感染症対策を講じること。
- ・運動後や部室等での更衣時は必ずマスクを着用し、部室の使用は少人数でかつ短時間にすること。
- ・学校内では「三密」や「大声」を回避し、友人とも身体的距離を保つようにすること。

■ マスクやフェイスシールドの効果 (スーパーコンピュータ「富岳」によるシミュレーション結果)

対策方法	なし	マスク			フェイスシールド	マウスシールド
		不織布 	布マスク 	ウレタン 		
	吐き出し飛沫量 100%	20%	18-34%	50%*2	80%	90%*2
	吸い込み飛沫量 100%	30%	55-65%*2	60-70%*2	小さな飛沫に対しては効果なし (エアロゾルは防げない)	

*2 豊橋技術科学大学による実験値

④ 手洗い・消毒の徹底を

手洗いの6つのタイミング



⑤ その他・学校外でも…

- ・放課後や部活動の終了後は寄り道せず、まっすぐ帰宅すること。
- ・休日も含めて生徒同士のカラオケや会食は自粛すること。
- ・健康的な生活(十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事)により抵抗力を高めること。

・ 感染者、濃厚接触者、医療従事者等への偏見や差別をすることなく、正しい知識・情報に基づいた行動をとりましょう。



～ 最後に ～

「感染しない方法はみんな知っています。

これまでの感染対策を変える必要はありません。

変えなければいけないのは一人一人の感染に対する心構えです」

※「新型コロナウイルス感染をのりこえるための説明書」玉井道裕医師より諏訪中央病院のHPに公開されています。

